

科目名	知覚・認知心理学			担当教員	蔵 富 恵	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2SPS307
期待される学修成果	基礎教養 教科教育					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	人間の心的情報処理と外的情報の活用目標：1)人の様々な行動を、情報処理過程として解釈し、説明できるようになること。2)日常場面、特に教育場面で人を取り巻く情報源を捉え、吟味し、効果的に利活用する方法を考察できるようになること。					
授業の概要	人の行動を、「身体や脳というハードウェア上で実行される情報処理」として捉えるのが認知心理学の発想である。その性質と限界を紹介し、自己・他者の思考を客観的に理解できるようになるために、いくつかのデモンストレーションを通して学習を進める。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③】					

授業計画	
第1回	オリエンテーション/知覚・認知心理学とは
第2回	感覚
第3回	知覚の基礎
第4回	高次の知覚
第5回	感性
第6回	注意
第7回	記憶
第8回	表象
第9回	日常認知
第10回	問題解決と推論
第11回	判断と意思決定
第12回	認知と感情
第13回	認知の進化と個人差
第14回	知覚・認知の障がい
第15回	まとめ

事前学修	2時間	毎回の講義で前回の復習問題を行うので、講義開始前に前回の内容をおさらいしておくこと。
事後学修	2時間	次回の講義に関する質問や課題を課すことがある。この課題に取り組まない場合には、次回の内容が十分に理解できない場合があるため、忘れずに課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	質問などは各授業終了後に受け付け、翌週にフィードバックを行う。また、メールでの質疑も随時受け付け、応答する機会を設ける。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価		100%	授業への積極的参加度および貢献度に加え、授業内で提示される課題（確認テスト）に基づいて評価する。
定期試験		0%	実施しない。
補足事項	授業内への積極的参加度および貢献度30%，授業内で提示される確認テスト70%で総合評価を行う。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	関連資料・引用文献は毎回の講義中に紹介する。			